

# 農林大学校生が取り組む花育活動

作成者：島根県立農林大学校農業科花き専攻 神門 卓巳・大畑 珠里

- 対象者・人数：保育園児20名程度
- 所要時間：60分程度
- 対象場所：農林大学校の花栽培ハウス・現場教室など
- 指導者・アシスタント人数：  
学生5名程度、教員（アシスタント）4名程度
- 実践概要

島根県立農林大学校は、次代の島根県の農林業をリードする農林業者の養成を目的に設置している実践教育施設であり、学生は実習を中心に2年間学んでいる。

花き専攻では、花きの生産から販売までを自ら出来る学生を育てることを目標に、切り花ではキク、トルコギキョウ、キンギョソウ、ストック、ハボタン、キンセンカ等、鉢物ではシクラメン、アジサイ、サイネリア等の栽培に取り組んでいる。また、花の装飾技術向上を目指しフラワー装飾技能検定に挑戦しており、本年度2級（2名）と3級（2名）を取得した。

専攻運営として、花の生産振興や消費拡大に関することに幅広く取り組むこととしており、環境付加の少ない生産方法を認定する「MPS認証」や、花き（切り花）の日持ち向上対策に取り組んでいることを認定する「日持ち性向上対策品質管理認証」を全国の農業大学校に先駆けて取得した。また、地域や消費者の方々との交流を目的に、校内で年3回「花の直売」も行っている。

このような取り組みの中で、5年前から地元の保育園児（大田市立波根保育園）を対象として花に親しんでもらう活動「花育」に取り組んでいる。「花育」は、課業の一環として取り組んでおり、学生主体で企画立案・準備・実施まで行っている。年2回の開催で、6月頃には花を栽培しているハウスでキンギョソウの摘み取りとアレンジメント作成、12月から3月頃には下記の表のとおり花に関する様々な取り組みを行っている。



	開催日時	場所	対象者 (園児)	テーマ	主な内容
1	H23.6.21 10:00～11:00	農大ハウス	35	みんなでお花探しに行こう！ in 農林大学校	キンギョソウ収穫体験・花束づくり・農大のお花探検&クイズ
2	H23.12.12 9:30～11:00	公民館	16	冬のお花わかるかな？ みんなで楽しく押し花コースター作り！	押し花コースター作り・お花クイズ
3	H24.6.12 10:00～11:00	農大ハウス	32	2012夏 お花ものがたり波根保育園×農林大学校	キンギョソウ収穫体験・アレンジづくり
4	H25.3.11 10:00～11:00	保育園	20	お花博士になろう！ 冬のお花で図鑑作り	季節の花や植物を使ったお花図鑑作り
5	H25.6.20 10:00～11:00	農大ハウス	25	お花が広げるハピネス2013 in 農林大学校	キンギョソウ収穫体験・紙芝居「お花幸せ物語」・アレンジづくり
6	H26.3.10 10:00～11:00	農大ハウス	13	花とのふれあい 世界に一つだけの寄せ鉢づくり	花苗の寄せ植えづくり・お花クイズ
7	H26.6.17 10:00～11:00	農大ハウス	24	笑顔まんさい！ 魅力ある花で広げる幸せ～キンギョソウ収穫体験～	キンギョソウ収穫体験・お花クイズ・アレンジづくり
8	H27.3.5 10:00～11:00	保育園	12	卒園までのありがとうを花に込めて届けよう！	アレンジメント&カードづくり・紙芝居「ひとつのつぼみ」
9	H27.6.19 10:00～11:00	農大ハウス	19	花と友だちになろう 2015 夏	キンギョソウ収穫体験・アレンジづくり
10	H28.3月 10:00～11:00	保育園	12	思い出の1ページ～ワイワイ楽しく花束づくり	アレンジメント&カードづくり

## 第4回 お花博士になろう 冬のお花で図鑑作り



## 第8回 紙芝居「ひとつのつぼみ」 メッセージカード作成



## ■ 指導内容と目的

花育は、課業の一環（園芸各論）として取り組んでおり、学生主体の活動となるよう、自ら企画立案し、準備・実施するよう学生の指導を行っている。学生は、園児に花と触れ合う機会を提供し花を好きになってもらうことを目的に、農大版「花育」を計画し実践している。

年間2回を目標に実施しており、第1回は6月頃にキンギョソウの花の摘み取りとアレンジメント作成、12月から3月頃の2回目は、花に興味を持ってもらう企画（卒園式に向け感謝の気持ちを花を通じて届ける活動等）を行っている。

## ■ 対象者への配慮

園児が対象であるため、出来るだけわかりやすく明確に指示するようにしている。

また、事前に保育園と農大の職員同士で打ち合わせ会を実施し、園児に対しての留意事項や事前の準備物等について確認を行った後、実際の指導を行う学生にその情報を伝えて、園児にわかりやすい内容になるよう検討させている。

ハウス内でキンギョソウの摘み取りを行うため、事前に園児の目線で危険箇所の確認を行い、突起物等にはカバーをつけるなど安全対策を行っている。

また、ハサミの取り扱いには特に留意するよう指導している。園児にとっては普段使っているハサミが使い良いということで、切り花専用のハサミでなく、保育園から持参したクラフトバサミを使用している（茎が硬すぎない花を準備）。

■ 1. 指導計画・スケジュール（平成27年6月19日実施の第9回「花育」の場合）

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
キンギョソウ 栽培暦	○ 播種	◎ 定植			□□□□ 収穫開始				□□□□ 収穫終了	× 台刈り	★ 花育
花育 スケジュール								園との打ち合わせ①	園との打ち合わせ②		★ 花育

■ 2. 事前の準備

(1) 事前の準備

- ・花育実践に向けたテーマ、体験内容、その他の企画・役割分担、準備物品等について学生が主体となり、協議・決定。課業・実習の中で行った。
- ・ペットボトル容器を作成し、園へ描画を依頼した。
  - \*2Lペットボトル底部を切り取って使用した（500mlでは不安定だったため）。
- ・摘み取り体験ハウスを整備した（園児に危険なものを撤去、突起物等はタオルなどで保護）。
- ・調整室（フラワーアレンジメント体験会場）を整備した（机・花材等の配置）。
- ・資材及び花材の準備
  - 吸水性フォームの準備（ペットボトル容器に入る大きさに切り、前日から吸水させておく）
  - 花材紹介チラシの作成
  - 花材採取

(2) 花材

- ・キンギョソウ（各自摘み取ったもの・3～5色） 5～6本
- ・トルコギキョウ 2～3本
- ・ジニア 1～2本
- ・ヒマワリ 1～2本
- ・スターチス・シヌアータ 1～2本
- ・アイビー（農大で自生） 1本

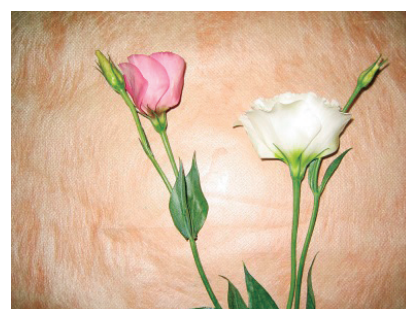


キンギョソウ

スターチス



ヒマワリ



トルコギキョウ

### ■ 3. 当日の流れ

#### (1) 概要

##### ・参加者

園児	：4、5才児	19名
保育園職員	：	2名
農大学生	：1、2年生	5名
農大職員	：	4名

#### (2) 資材

##### ①キンギョソウ摘み取り体験

###### ●園児

- ・クラフトバサミ（園で使用しているもの）
- ・水筒
- ・帽子

###### ●農大

- ・新聞紙・クラフトテープ・油性ペン
- ・収穫ハサミ（補助用）

##### ②フラワーアレンジメント

###### ●園児

- ・クラフトバサミ（園で使用しているもの）

###### ●農大

- ・ペットボトル容器（事前に園児に描画してもらったもの）
- ・吸水性フォーム
- ・持ち帰り用ビニール袋・台紙

#### (3) 当日のスケジュール

9:00～9:45	机配置、花材の分配など
10:00～10:10	園児到着、学生あいさつ、花の紹介（キンギョソウの花を使った遊びなど）
10:10～10:30	摘み取りハウスへ移動、注意事項説明 摘み取り体験開始
	・注意事項は、ハサミを人に向けないこと、走らないこと。好きな色の花を、自由に摘み取ってもらう。
	・園児持参のハサミを使用し、園児が収穫、学生・職員は補助
	・摘み取り体験後、園児は水分補給をする。



キンギョソウのほ場



キンギョソウの摘み取り体験の様子

10:30～10:35 調整室（フラワーアレンジメント体験会場）へ移動

10:35～10:40 園児に各自が描画した容器を配付

10:40～10:55 花材紹介、フラワーアレンジメント作成説明

フラワーアレンジメント体験開始

- ・注意事項は、茎をななめに切ること。挿す深さは2cm程度。自由に生けてもらう。
- ・園児3～4人に対し、学生1名が補助。職員も補助的に見守る。バランスが悪くなって倒れないよう、注意する。



アレンジメント体験会場



アレンジメント体験開始



アレンジメント体験中



アレンジメント作品①



アレンジメント作品②

10:55～11:00 集合写真撮影



11:00～11:10 花材紹介チラシ配付、持ち帰ってからの注意点説明

- ・ペットボトルに水がなくなったら水を足すこと、風が直接当たらないところに置くなど。

終わりのあいさつ、園児見送り

11:10～ 後片付け、園までアレンジメント配達

当日の配布「花材紹介チラシ」

ペットボトルアレンジメントで  
つかはな  
使ったお花たち 島根県立農林大学校花き専攻

(キウキウウウ)  
しっぽの突きな  
釜煎に、  
形が似てるよ

(ウタニキウ)  
暑色がきれいな  
花だよ

(ヒキウウ)  
たいようのようなお花だよ  
きゅうとうときいるがあるよ

(トウキキウウ)  
島根県(しまねけん)うまれの  
なかがまがたくさんいるよ  
かろうたよ

きょう、作ったアレンジメントを  
長く楽しんでもらうためには?

①□中のお水がなくならないように、氷やりをしてください。  
ペットボトルの入れもののすきまから水をあげてください。

②□置き場所は、おうちのひととお話ししてきめてください。  
おひさまの光がちよくせつあたらない、かぜとおしのよい  
ところにおきましょう。

③□しおれた花は早めにとってあげてください。  
おうちのひと、またつくってみてね!

## ■ 実施する上での課題

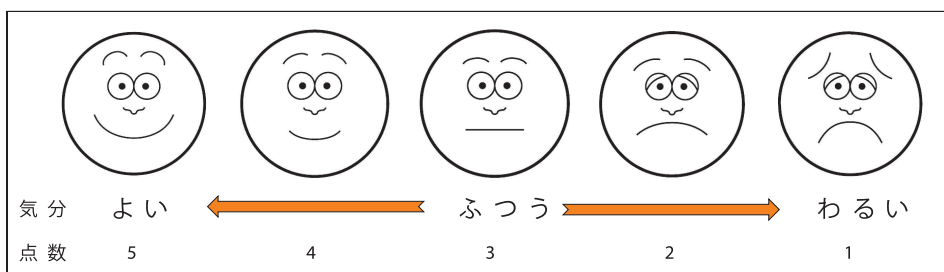
平成23年度から取り組んでおり、本年度で5年10回目（1年に2回実施している）を迎える。毎回、園児からも好評で感謝の手紙等々いただいている。また、学生にとっては、教えることで自らを振り返ることができる貴重な体験になっており、この経験が自信につながっている者も多い。

現在、花に触れ合い楽しむことを主眼点に実施しているため、摘み取りやアレンジが中心となっているが、今後は更に保育園との連携を図って、園庭の花壇管理や1人1鉢運動など「花を育てる」分野に広げていくことが、1つ目の課題である。

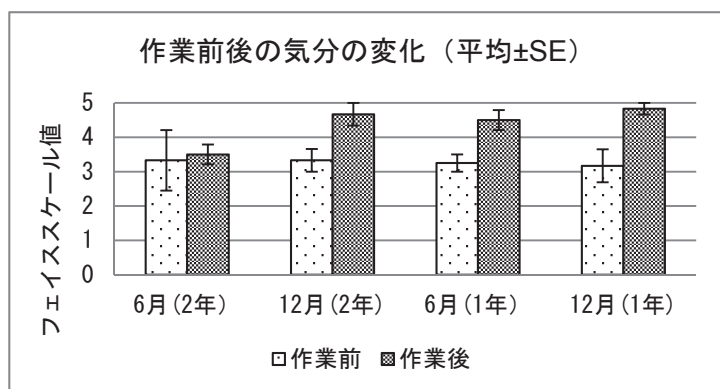
また、「花育」を実際に行うと園児に対しても学生に対してもさまざまな効果が見られるため、この活動を教育活動としてPRし広めていくことが、2つ目の課題である。

農林大学校では夏期に新規採用教員（小学校・中学校・高校）を対象とした農業体験研修を実施しており、花き専攻では「花育」をテーマにアレンジメントと花壇管理についての講義と実習を行っている。学校の教員に「花育」活動を知っていただき協力者を増やしていく活動の場として活用している。

なお、「花育」PRの手法として「花育」の効果を数値で示していくことも必要ではないかと考えている。花き専攻では、別添のフェイススケールを使って「花育」実施前後の学生の気分の変化を数値で示す試みを行っている。実施前より実施後の気分が良くなる学生がほとんどであり、指導後の充実感が次の「花育」につながるのではないかと考えている。今後は、さらにどのような評価を行うと良いか専門家の意見を聞きながら実践し、データの蓄積を図っていきたい。



効果確認に用いたフェイススケール



第1・2回の「花育」指導前後の気分の変化（学年別）

**■ 改善点等**

第1回目の花育を受けた園児も今は小学3年生になっている。一昨年近隣の小学生が校外学習で花き専攻に来た際、キンギョソウを示したところ、波根保育園出身の児童は花の名前を「キンギョソウ」と言い当てることが出来た。体験が記憶につながっていることを確認できた瞬間であったが、今後もさらに定着性について追跡調査していく必要があると考えている。

現在、農林大学校では有機農業専攻や野菜専攻希望学生が安定して多くいる一方、花き専攻希望学生は減少傾向にある。「花育」活動により花や植物に興味を持ち、将来的に花に関する仕事を希望する学生に育って欲しいと願っている。そのためにも、保育園から小学校、中学校へと連動した「花育」活動が定着し、その活動をコーディネートし支援できる機関として農林大学校の存在意義は大きいと考えている。